



今月の歩み

8 月は、柴田茂第 2520 地区ガバナーの公式訪問を迎え、国際ロータリー及び地区の方針を共有するとともに、当クラブが進める持続可能な奉仕活動の方向性を再確認した。臨時例会「異と和集会」では、人手不足を入口として働き方、AI、外国人材、過剰サービスと個人の幸福について対話を深めた。また、青少年交換への取り組み、熊本地震支援、漆プロジェクト、Camino de Banzan など、地域と社会に接続する活動を進めた。月末には障がい者就労をテーマとする卓話を開催し、福祉を支援の枠内だけで捉えず、企業や第一次産業との連携によって地域の担い手を育てる可能性について理解を深めた。

1) 理事会報告

8 月 18 日

ロータリー青少年交換への対応として、ロータリー財団委員会の任務に「留学生受け入れ窓口の設置」を加える細則改定案を承認した。また、短期交換留学希望者についてクラブとして推薦する方針を承認し、八咫鳥プロジェクトに準じた審査基準をもとに手続きを進めることとした。

令和 8 年熊本地震への支援について、正会員 19 名分の人頭分担金 19,000 円をロータリー財団委員会から拠出することを決定した。また、会員・賛助会員・会員事業所から寄せられる任意募金についても、クラブを通じて被災地支援へ届ける方針を決定した。

総会を 11 月 15 日に開催するとともに、今後の総会開催を原則として毎年 6 月・11 月の第 3 日曜日とすることを決定した。

Camino de Banzan について、登山道周辺の環境変化と安全性を考慮し、一般参加による登山活動を当面中止するとともに、蛇台蕃山登山口の環境整備をクラブで実施することを決定した。

夏休み ARES プロジェクトの協賛費及び交通費計 12 万円の支出を承認した。

8 月 25 日

青少年交換短期派遣候補者の推薦状について協議し、クラブの理念である「日本文化を海外へ伝える」という視点を含めて内容をさらに整えた上で、次回理事会において再審議することとした。

2) クラブ協議会報告

8月4日 ガバナー公式訪問

柴田茂第 2520 地区ガバナー、原田誠章代表幹事、岩渕ガバナー補佐を迎え、ガバナー公式訪問を開催した。

柴田ガバナーから、持続可能なインパクトを生み出す奉仕、会員増強及び退会防止などについて地区方針が示された。当クラブの漆プロジェクトをはじめ、「心を守る漆の森」「魂をつなぐ巡礼の道」「誇りを育む学びと冒険」「大人大学」等の取り組みについても評価をいただき、地域住民や賛助会員を巻き込みながら活動を継続することへの期待が示された。



8月18日

青少年交換留学生の受け入れに伴う安全管理、保険、保証及びクラブの責任体制について協議した。また、熊本地震支援について、クラブ財源と任意募金を明確に区分しながら支援を行う方法を整理した。

3) クラブフォーラム報告

8月25日

賛助会員でセブンドット合同会社の高橋瑞樹氏を講師に迎え、「時給 270 円の方で、障害者就労の現場から」をテーマに卓話を開催した。

障がい者就労支援制度の現状、工賃、生産活動と福祉制度の関係、企業との連携による仕事の高付加価値化などについて理解を深めた。意見交換では、障がいの有無によって仕事を区分するのではなく、個々の能力と地域社会のニーズを結びつけ、第一次産業を含む人手不足分野との連携を考える視点が共有された。

4) 臨時例会報告

8月2日 第15回「異と和～違いが調和を紡ぐ時代へ～」

「人手不足社会、日本は何を選択すべきか？—AI・働き方・外国人材から考える未来—」をテーマに開催した。

週休3日制を入口として、時間・健康・仕事・幸福の関係を考え、さらに AI、外国人材、過剰サービス、労働力不足へと議論を展開した。「人手不足」を単純な労働力不足として捉えるのではなく、社会が維持



してきたサービス水準や制度、働き方そのものを問い直し、「不足を埋める前に、過剰を外す」という視点から持続可能な社会のあり方について対話を深めた。

また、外国人材についても単なる労働力としてではなく、地域で生活する対等なパートナーとして捉え、制度・価値観・実践の三層から共生の環境を育てる必要性が共有された。

5) 委員会報告

漆プロジェクト

8月9日、丸森の圃場において草刈り活動を実施した。活動中に蜂刺傷が発生したことを受け、蜂・アブ用スプレーやポイズンリムーバーを整備するなど、野外奉仕活動における安全管理体制の強化を進めた。



Camino de Banzan

降雨及び登山道の状況を考慮し、8月16日のインパクトハイクを中止した。偵察登山の結果、登山口の著しい草木の繁茂やツキノワグマの痕跡が確認されたため、一般参加による活動を一時中止し、安全な環境を再構築するための登山口整備を進めることとした。

ARES プロジェクト

夏休みワークショップへの協賛事業について、8月19日に協賛金7万円及び交通費5万円を送金し、事業を完了した。

ロータリー財団委員会

熊本地震支援金への対応及び青少年交換留学生受け入れ窓口の整備を進めた。

6) クラブ内サークル活動報告

8月中の活動報告はなかった。

7) 地区活動報告

8月3日

在仙11ロータリークラブ合同幹事会に宮幹事が出席した。

8月23日

盛岡で開催された地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナーに、高橋会長、林会員、宗像会員が参加した。奉仕プロジェクトの立案や地域社会調査などについて学び、今後クラブ内で内容を共有することとした。

8) 当月ビジター・ゲスト参加者

8月4日

柴田茂様（第 2520 地区ガバナー・盛岡東 RC）、原田誠章様（第 2520 地区代表幹事・盛岡東 RC）、秋田陽子様（仙台レインボーRC）が参加した。

8月25日

高橋瑞樹様（セブンドット合同会社・当クラブ賛助会員）が卓話講師として参加した。

9) 来月予定

9月1日 第 239 回定期例会・クラブフォーラム

9月6日 臨時例会・ワイン会

9月7日 在仙 11 ロータリークラブ合同幹事会（宮幹事出席）

9月8日 第 240 回定期例会・クラブ協議会

9月13日 URUSHI PROJECT 草刈り

9月15日 第 241 回定期例会・クラブフォーラム

9月20日 Camino de Banzan 蛇台蕃山登山口整備

9月26日 RLI 研修パート I（盛岡）

9月27日 2026-27 年度米山記念奨学会研修会